

教材・支援機器活用実践事例(特別支援学校)

実践年度・タイトル		平成28年度 理科におけるタブレット端末を活用した授業実践 —弱視の児童が主体的に観察できる環境の整備について—
授業について	教科名等 (該当する教科名等を選択。当てはまらない場合は他を選択し、次の単元・題材名の欄に記入。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数/数学 <input checked="" type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作/美術 <input type="checkbox"/> 家庭/技術・家庭 <input type="checkbox"/> 体育/保健体育 <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 外国語/外国語活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> 各教科等を合わせた指導 <input type="checkbox"/> その他の教科 <input type="checkbox"/> その他( )
	単元・題材名	大地のつくり
	授業の目標	身の回りの大地やその中に含まれる物に興味をもち、観察をしたり、資料などで調べたりして、大地の構成物について理解することができる。
	観点別学習状況の評価の観点 (教科の特性により設定した観点がある場合は「その他」を選択し記載。)	<input checked="" type="checkbox"/> 「知識・理解」 <input checked="" type="checkbox"/> 「技能」 <input type="checkbox"/> 「思考・判断・表現」 <input checked="" type="checkbox"/> 「関心・意欲・態度」 <input type="checkbox"/> その他( )
学習集団と子どもの実態	学校・学部・学年・人数	<input checked="" type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> 就学前 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以降 <input type="checkbox"/> 特定されない 第6学年 1人
	対象の障害	<input checked="" type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱・身体虚弱 <input type="checkbox"/> 言語障害 <input type="checkbox"/> 自閉症 <input type="checkbox"/> 情緒障害 <input type="checkbox"/> LD(学習障害) <input type="checkbox"/> ADHD(注意欠陥/多動性障害) <input type="checkbox"/> その他
	子どもの課題 (特性・ニーズ)	<input checked="" type="checkbox"/> 見る <input type="checkbox"/> 聞く <input type="checkbox"/> 話す <input type="checkbox"/> 読む <input checked="" type="checkbox"/> 書く <input type="checkbox"/> 計算する <input type="checkbox"/> 推論する <input type="checkbox"/> 運動と姿勢 <input type="checkbox"/> 日常生活活動 <input type="checkbox"/> 不注意 <input type="checkbox"/> 多動性—衝動性 <input type="checkbox"/> 社会性・コミュニケーション <input type="checkbox"/> 覚える・理解する <input type="checkbox"/> その他 授業中、単眼鏡や拡大読書機、ルーペなどを上手に使えるようになってきている。問題や板書等の文字を書くときに、急ぎすぎて文字が雑になったり、書き間違えたりすることがある。
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称と画像 (使用した支援機器・教材の名称を記載し画像を挿入。なお、特定の製品に特化した実践の場合は製品名を記載。)	iPadに標準装備されているズーム機能や色の反転、文字の大きさ、コントラスト等を変更できるアクセシビリティ機能を活用。 内蔵カメラ アプリ あかるくおおさく  
	活用のねらい	Aコミュニケーション支援( <input type="checkbox"/> A1意思伝達支援 <input type="checkbox"/> A2遠隔コミュニケーション支援) B活動支援( <input checked="" type="checkbox"/> B1情報入手支援 <input type="checkbox"/> B2機器操作支援 <input type="checkbox"/> B3時間支援) C学習支援( <input checked="" type="checkbox"/> C1教科学習支援 <input type="checkbox"/> C2認知発達支援 <input type="checkbox"/> C3社会生活支援) ・地層の観察や地層のでき方の実験では、画面を拡大して地層を見やすくする。 ・iPad用に作成された地層観察のWebページを活用する。
授業に授業者展開支援	授業展開と画像 (授業の様子、ICT活用場面の画像を挿入。)	<input type="checkbox"/> 地層のつくりと地層のでき方をまとめる学習。 ・周辺に地層観察に適した場所がないことから、iPadで映像教材や画像、動画による地層の観察を実施した。   
効果・評価	子どもの様子や変容および授業の評価	・地層の境目を見つけ、地層の色やれき、砂、泥などの構成物を確認し、理解することができた。 ・タブレット端末を授業で活用することにより、児童が自分で事象を確認できるようになり、積極的に実験や観察を行うことができた。 ・また、観察対象に近づいて視認することが難しかった観察や実験を、安全かつ即時的に取り組むことができた。 ・児童が、実験や観察を行う際の簡易的なツールの一つとして、タブレット端末を積極的に活用することにより、自分から経験をできたり、イメージを形成したりすることができた。